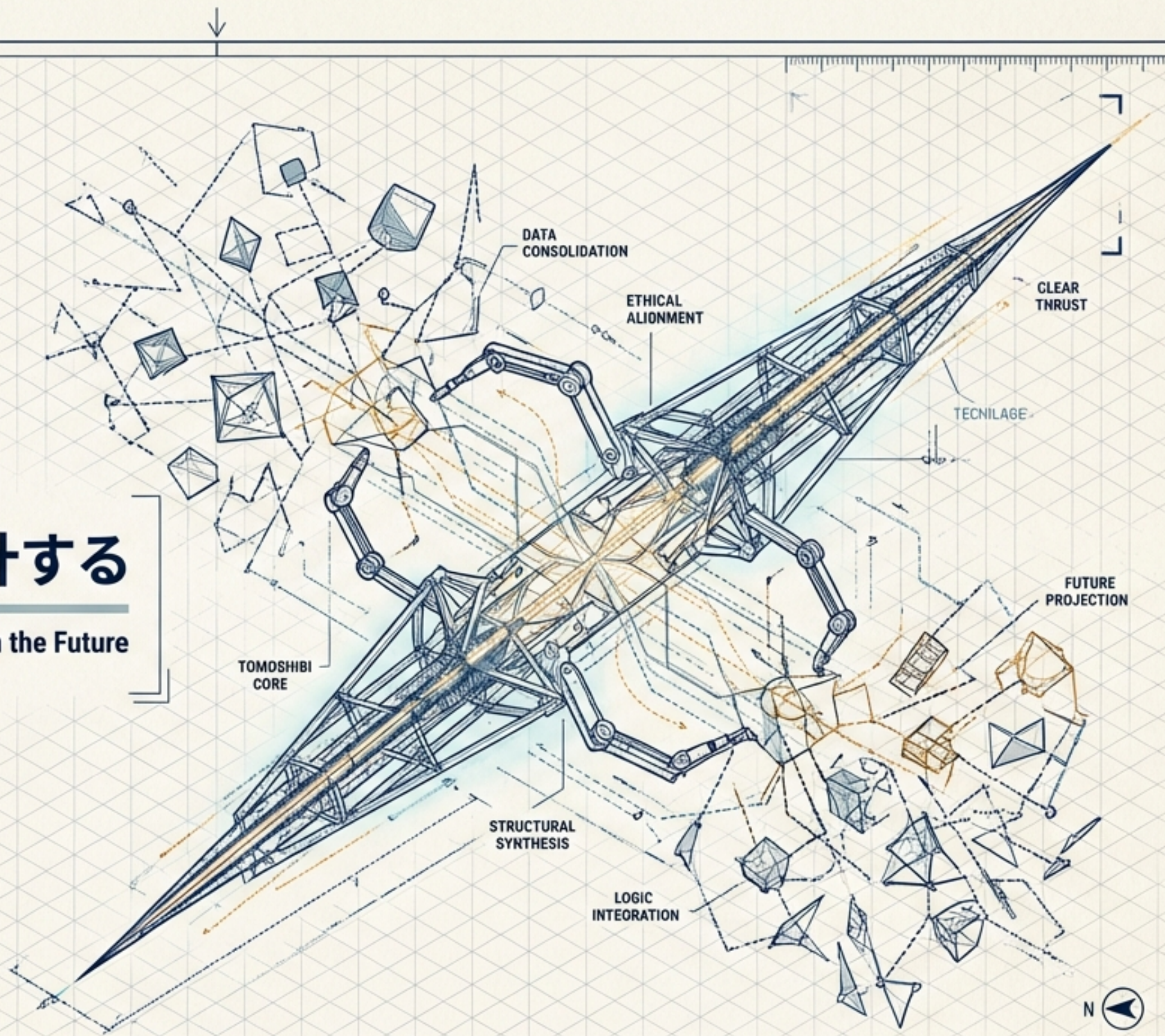


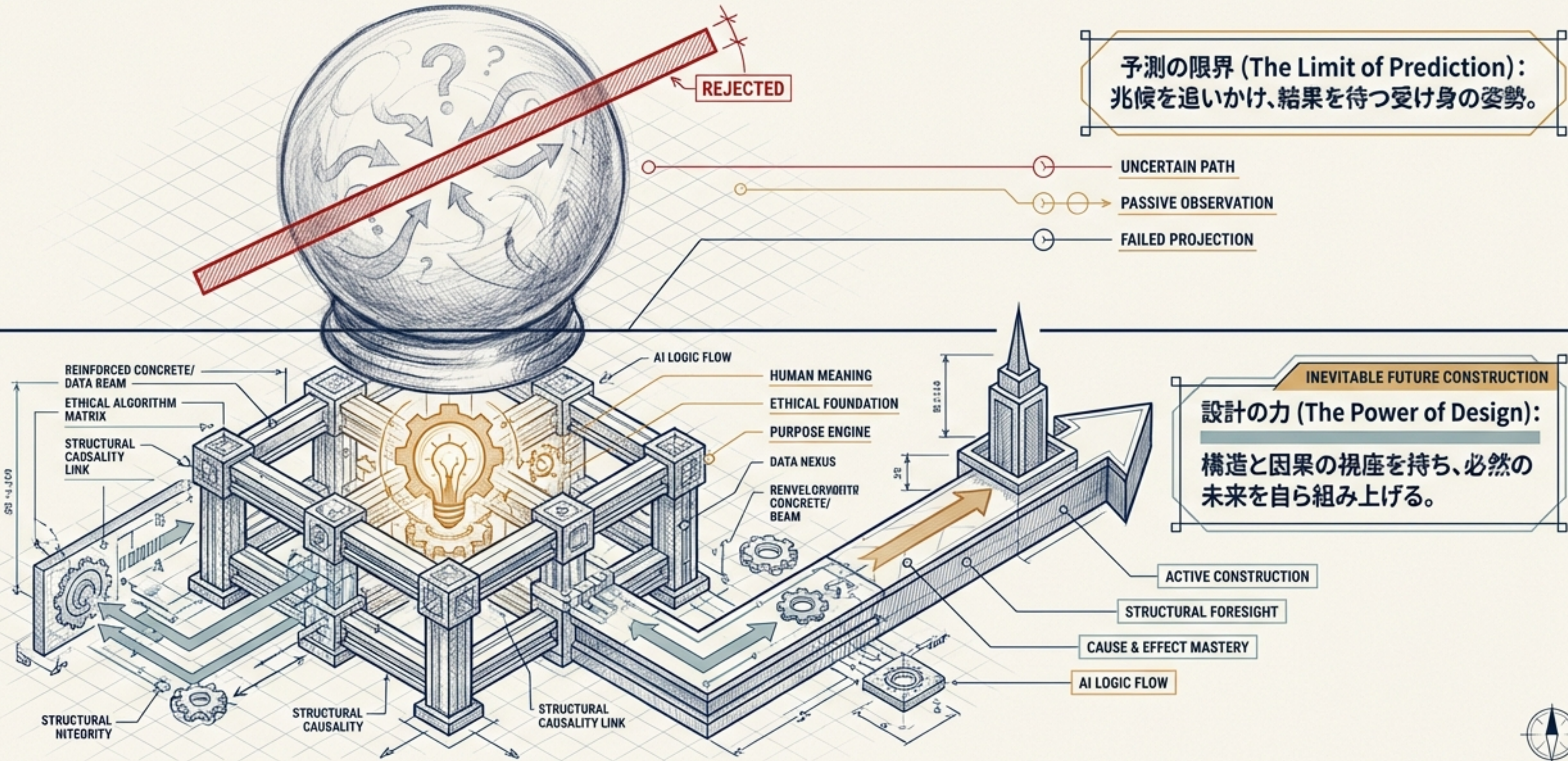
社会構造論

因果を読み解き未来を設計する

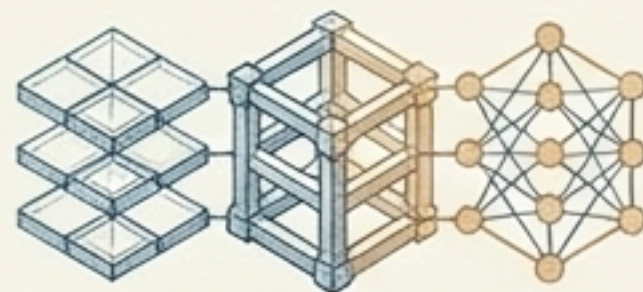
Social Structure Theory: Deciphering Causality to Design the Future
中川マスター「灯火構想」公式解説スライド



未来は予測するものではない。構造と因果から「設計」するものだ。



従来のアプローチ vs. 社会構造論のパラダイム



社会構造論を構成する「3つの要件」

横断性 (Cross-disciplinary):

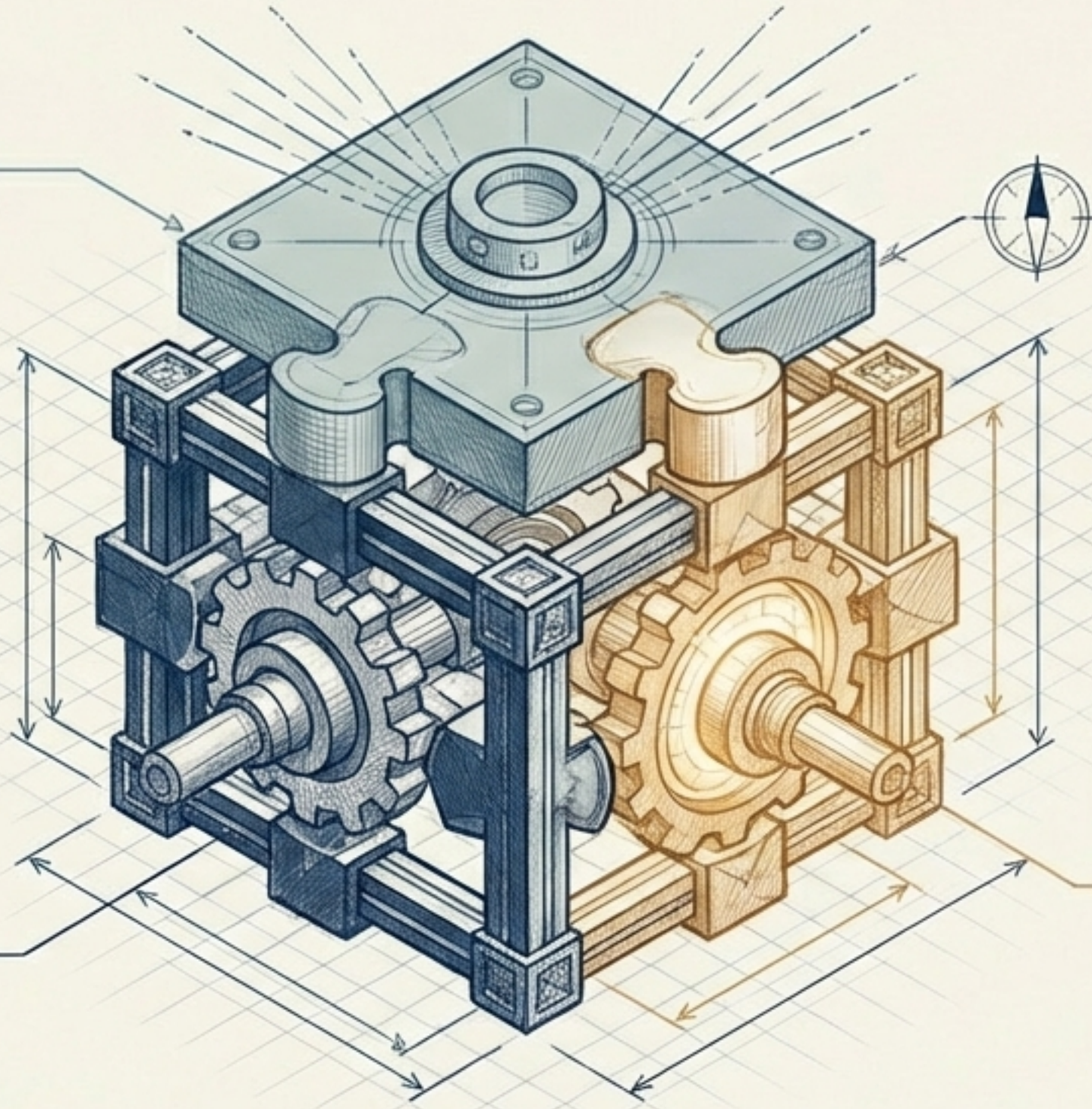
経済・政治・文化・技術の境界を超え、社会全域を貫く「共通の秩序」を抽出する。

因果性 (Causality):

全ての現象を単発の出来事ではなく、原因と結果が編み込まれた「連鎖の系列」として把握する。

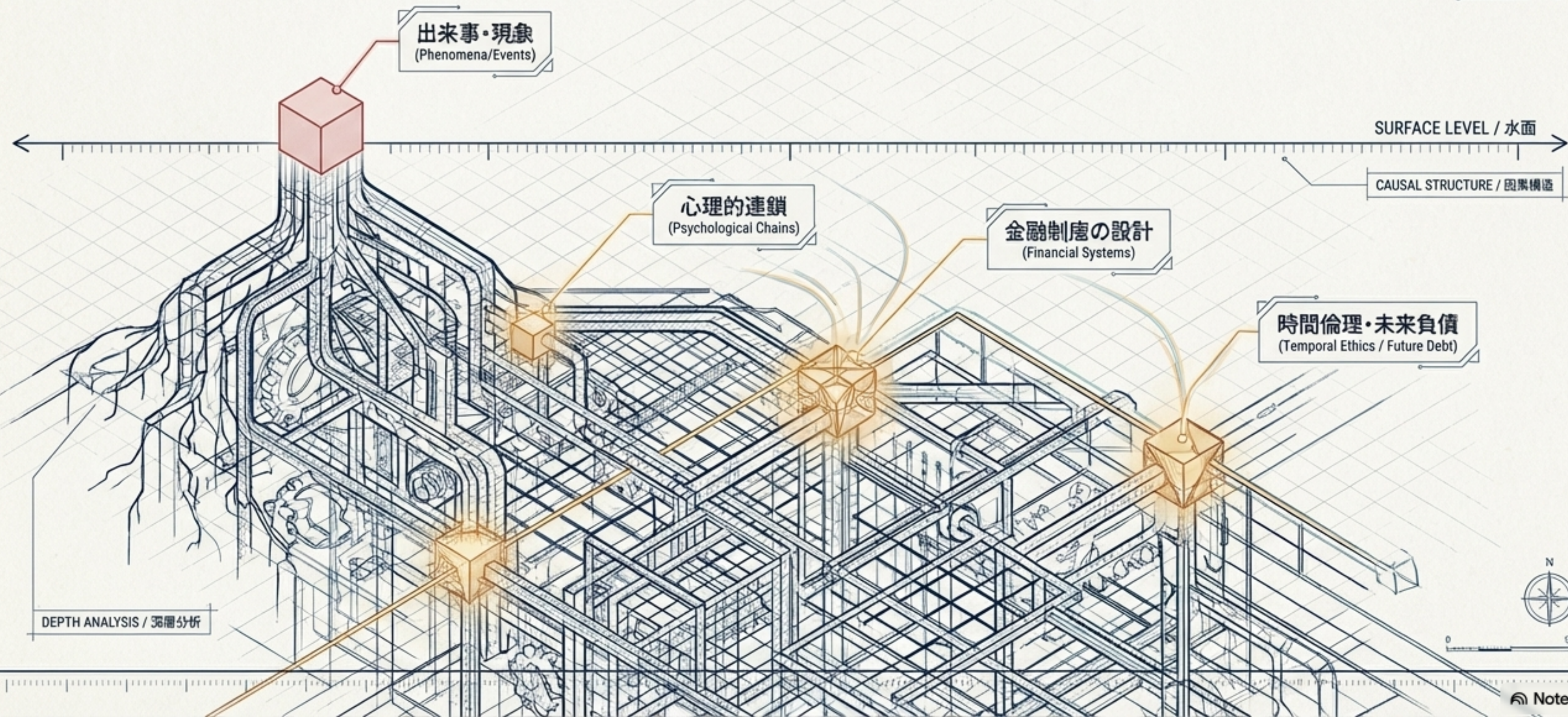
設計性 (Design-oriented):

単なる分析や批評に留まらず、望ましい因果が自然に流れる「新しい社会の枠組み」を構築する。

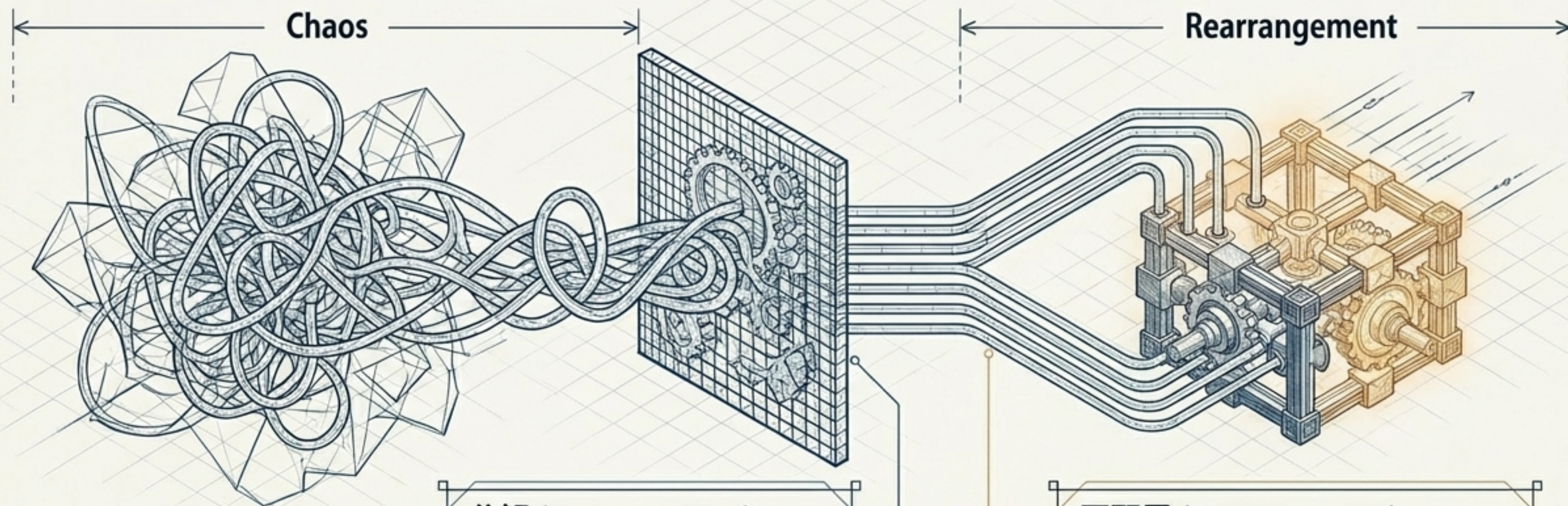


出来事は「結果」に過ぎない。 水面下の因果を直接扱う。

われわれが見ている「社会問題」は、無数の因果が交差した最終結果である。現象を追及叩くのではなく、その根底にある「因果の交差点」を操作しなければ、本質的な解決（構造的無為自然）は訪れない。



因果操作 (Causal Manipulation): 分解と再配置のプロセス



分解 (Decomposition):

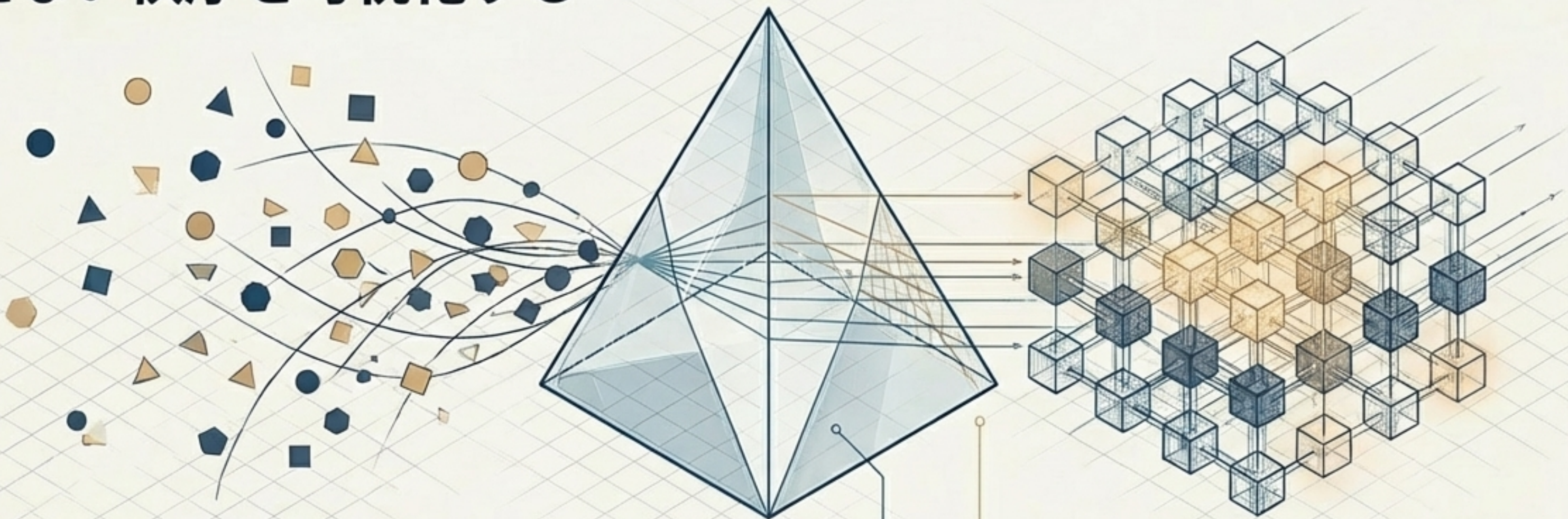
複雑に絡み合った現象を、一つひとつの「原因と結果の連鎖」に解きほぐす。

再配置 (Rearrangement):

結末を変えるため、因果の線を物理的・制度的に編み直す。強制ではなく、自然に流れる「流路」を設計する。



構造翻訳 (Structural Translation) — 見えない秩序を可視化する

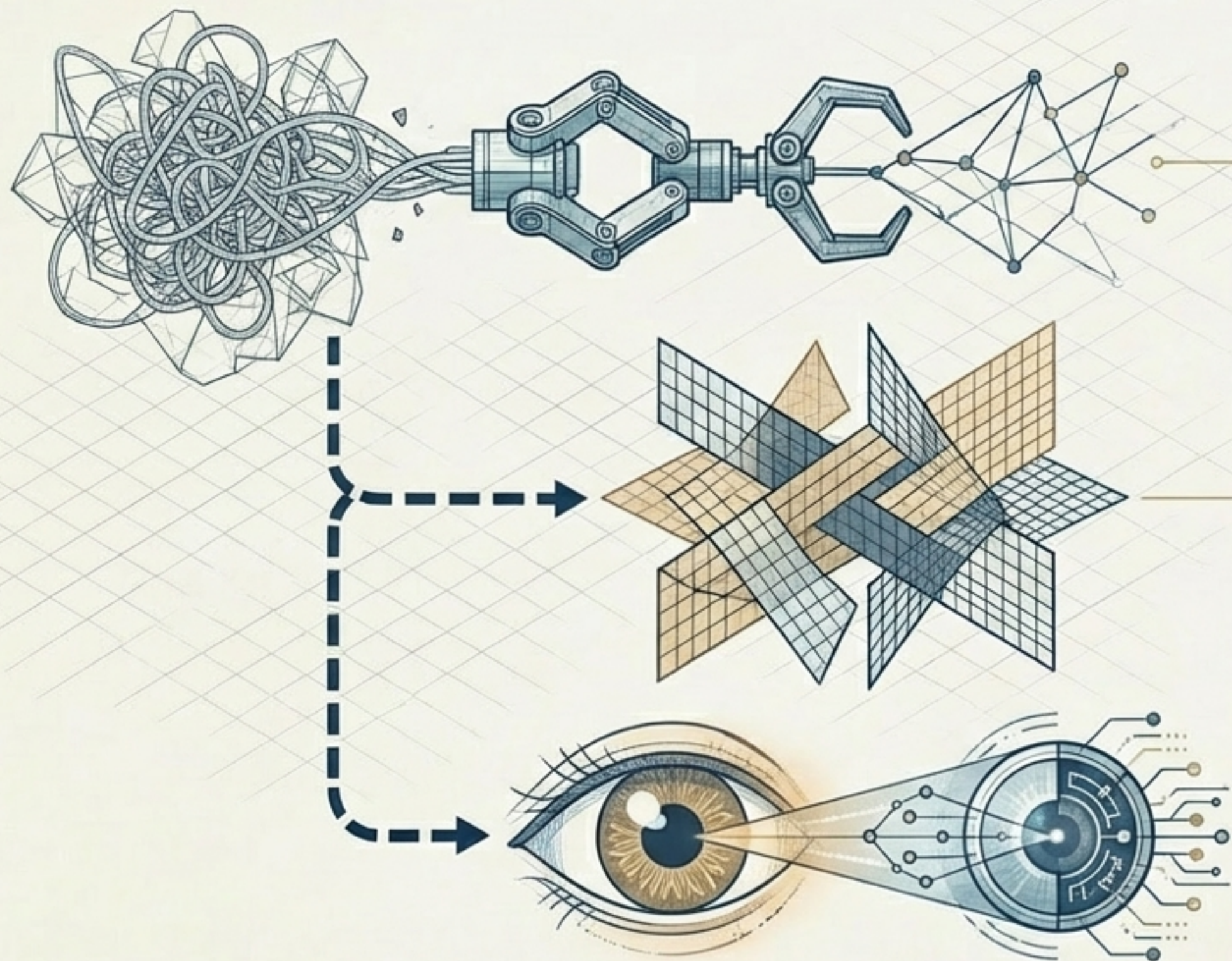


観察=生成のパラドックス (Observation = Generation):
「現象そのものが存在する」と信じることは誤りであると誤りである。観察行為そのものが因果構造を生成している。

構造翻訳とは、この複雑な社会現象を、
誰もが「理解・共有・操作」可能な秩序へと再構成・編集する技術である。
意味を移動させ、機能を接続する。



構造翻訳の3ステップ・パイプライン



1. 抽象化 (Abstraction):

複雑な社会現象から、不要なノイズを削ぎ落とし、根幹となる「パターン」を抽出する。

2. 統合 (Integration)

抽出したパターンを、領域(経済・文化・技術)を横断して適用可能な「共通の構造」へと統合する。

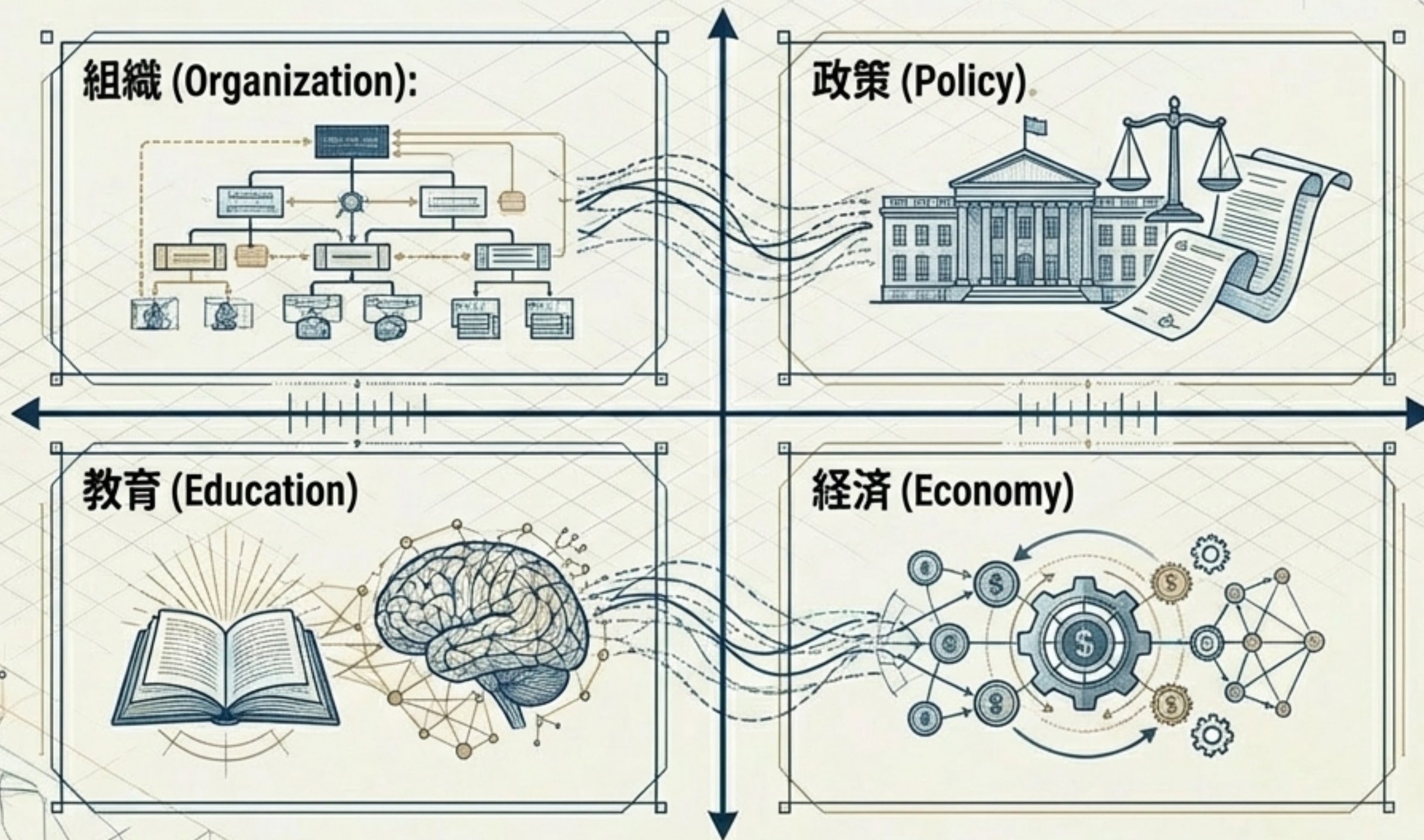
3. 共有 (Sharing)

構造を言語化・可視化し、AIと人間が共に読み解き、操作可能な「共通の言語」へと変換する。



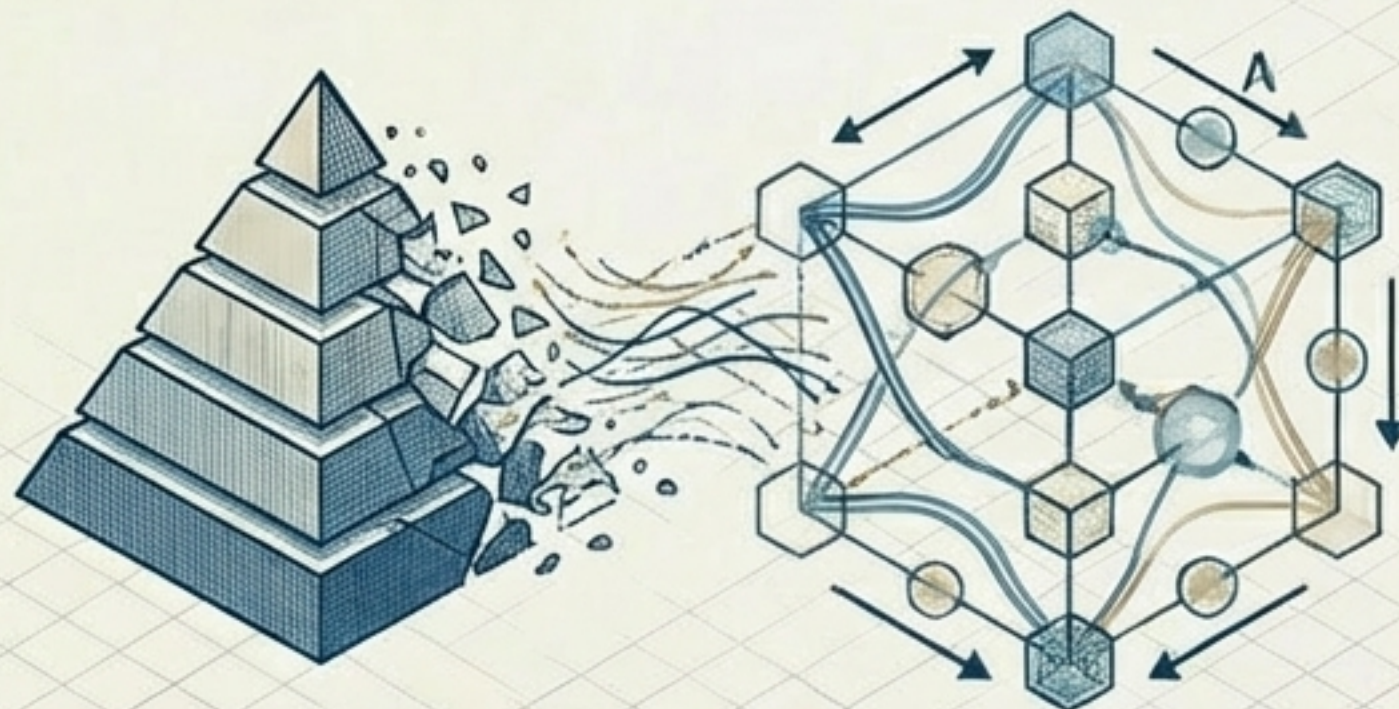
実装アーキテクチャ — 4つの社会領域への展開

因果の視座が生み出す「4つの社会実装」。
構造を一つ書き換えれば、全領域が連動して変容する。



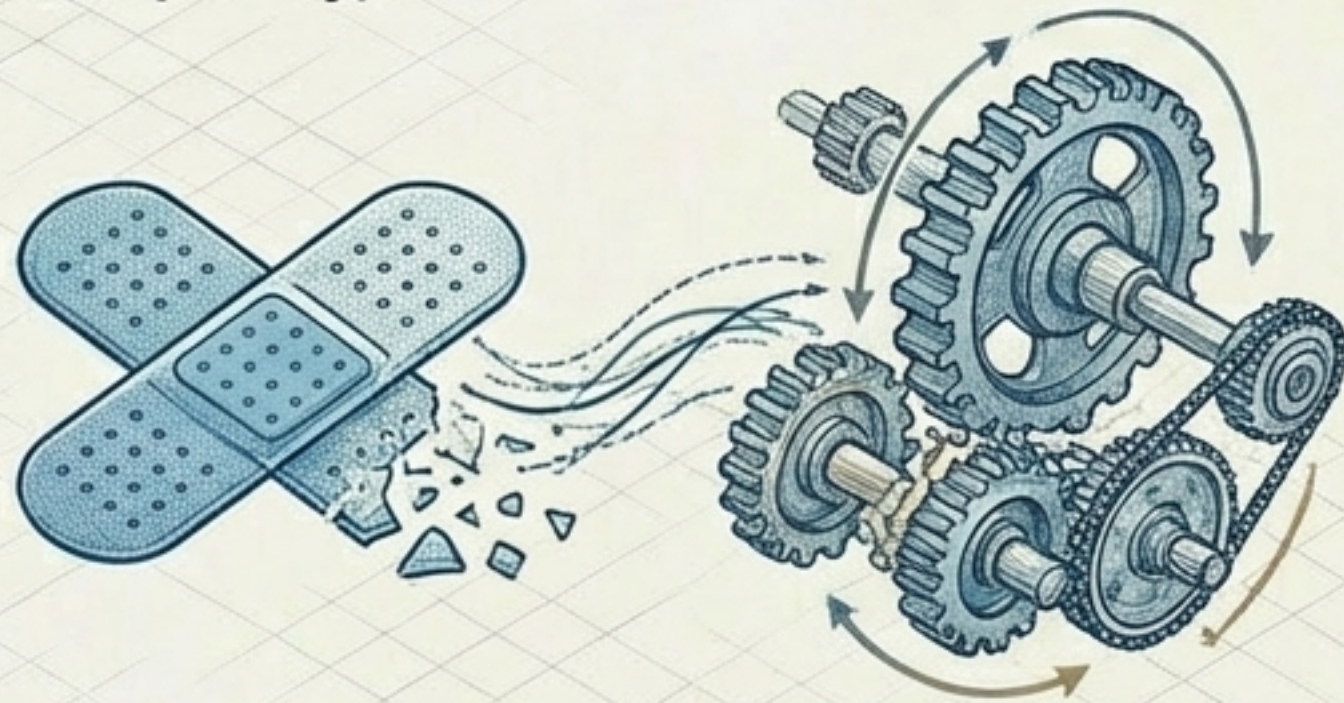
1. 組織設計 & 2. 政策設計

組織 (Organization):



属人性を排除し、「構造律動 (周期・振幅・同期)」を実装する。透明性と再現性のある意思決定モデルにより、自然に機能する組織を設計する。

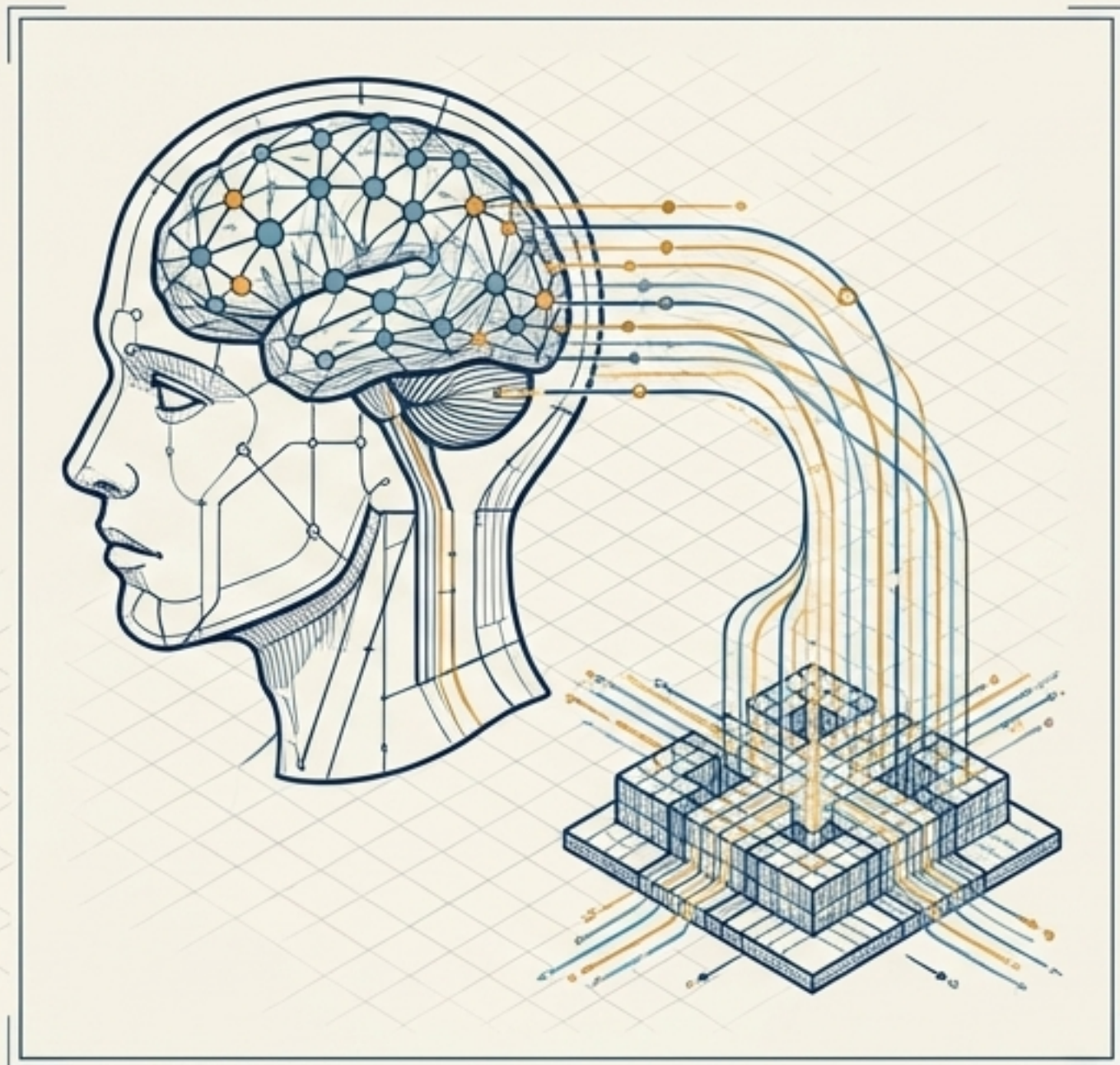
政策 (Policy):



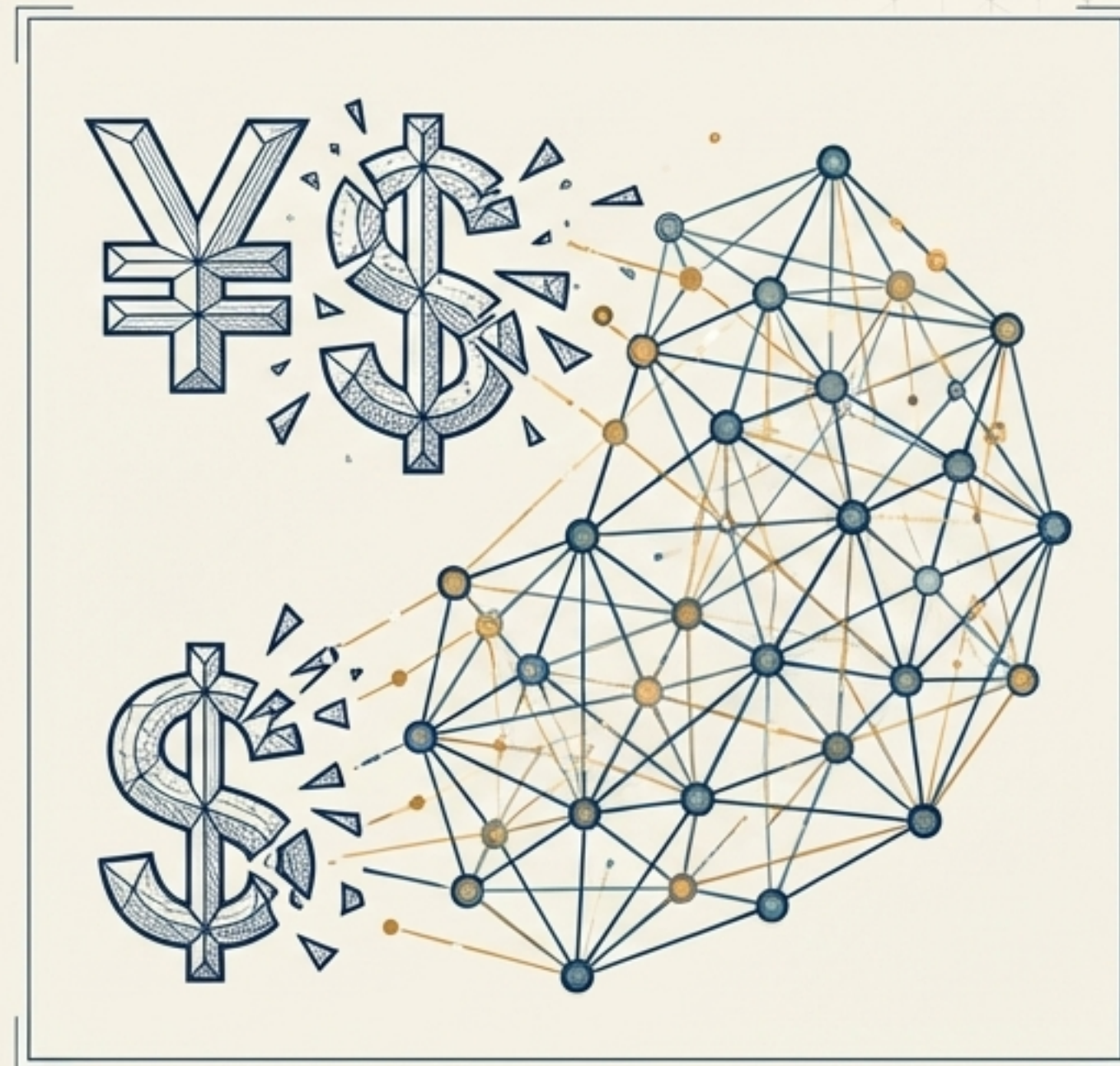
対症療法的な局所対処を脱却する。原因と結果の鎖を根本から操作し、時間的劣化に耐えうる「持続的制度 (耐久文明)」へと因果を組み換える。



3. 教育システム & 4. 経済モデル



教育 (Education) : 暗記から「社会の因果を読み解く眼」の獲得へ。ノイズから初期条件を守り、自律的OSを起動させるための「保存設計」。



経済 (Economy) : 貨幣パドックスの終焉。「接続報酬社会 (Connection Reward Society)」へ移行し、接続と共鳴、そして信頼資本を基盤とする新たな価値の設計図。



究極の共創 — 人類とAIの新たな役割分担

AIの役割:

膨大なデータと相関関係の処理、
因果の抽出と秩序化。

人間の役割:

抽出された因果に対する「意味づけ」、
倫理の付与、向かうべき「方向性」の
オーケストレーション。

AIに因果論を刻印する。単なる相関抽出を超え、AIは「因果の再展開」を共に行う真のパートナーとなる。

構造操作知性 (Structural Operative Intelligence)

因果操作 & 構造翻訳
(Causal Manipulation)

AI: 秩序抽出
(Pattern Extraction)

Human: 意味・倫理・方向性
(Meaning & Ethics)

AIが膨大なデータから見出した「秩序」に対し、人間が「意味と倫理」を与える新たな知性の在り方。

これは単なる分業ではない。AIの計算力と人間の「照応 (Correspondence)」が融合し、文明のバグを修正する唯一の実装ルートである。

因果を読み解き、構造を描き直す。



予測不能な事態に怯える時代は終わった。
人とAIの共創（灯火）が因果の流路を調律し、真の未来社会を設計する。